

地域連携

地域ボランティア論

《担当者名》○西郷 達雄 (t-saigo@hoku-iryo-u.ac.jp) 富家 直明 池田 宏(非常勤講師) 江差町職員 (特別講師)
浜頓別町職員 (特別講師) 利尻富士町職員 (特別講師)

【概要】

本授業はボランティアの理論と実践活動を通して、多職種連携や地域連携の理念を理解するとともに、自己理解を深め、地域に貢献する意志を有した人材の育成に寄与することを目的とし、講義ならびにボランティア体験の実践を行うものである。

【学修目標】

ボランティアの歴史と理論に関する基礎知識を得るとともに、医療や福祉、環境やまちづくりなど地域の諸課題を広く概観し、また実際に多職種連携を伴うボランティア活動を通じた地域貢献活動を行うことによって、自己理解の深化と社会的な問題の解決への意欲を高めることを学習の目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ボランティア活動とは何か	本講義のガイダンスおよびボランティア活動の理論と歴史を学ぶ。また、ボランティア活動における4つの柱を学び、「公共」「自発性」「無償性」「先駆性」についての理解を図る。	西郷 達雄
2	ボランティア活動の心理的側面の理解	ボランティア活動を通じて、人間の心と行動の理解を図る。また、ボランティアを受ける側の心理的状态について考え、必要な知識を得る。	西郷 達雄
3	江差町におけるまちづくり	江差町における医療、福祉、環境、文化におけるまちづくりについて学ぶ。	江差町職員 (特別講師) 西郷 達雄 富家 直明
4	浜頓別町におけるまちづくり	浜頓別町における医療、福祉、環境、文化におけるまちづくりについて学ぶ。	浜頓別町職員 (特別講師) 西郷 達雄 富家 直明
5	利尻富士町におけるまちづくり	利尻富士町における医療、福祉、環境、文化におけるまちづくりについて学ぶ。	利尻富士町職員 (特別講師) 西郷 達雄 富家 直明
6	ボランティア実習の事前学習	ボランティア実習に先立って必要な知識、技術、および活動内容について学習する。	西郷 達雄 富家 直明
7 ┆ 12	ボランティア実習	北海道青少年体験活動支援施設にて、ボランティア実習を行う。	関連職員 西郷 達雄
13	ボランティア実習の事後学習	ボランティア実習の振り返りを行い、その成果と今後の課題に基づく報告書を作成する。また実習発表会の準備を行う。	西郷 達雄 富家 直明
14	地域における教育と学習ボランティア	遠隔地域における教育現場の現状を学び、ボランティアの可能性について検討できるようになること目的とする。	池田 宏 (非常勤講師)
15	ボランティア実習報告会	実習で学んだことをグループで発表し、学びを深める。	西郷 達雄 富家 直明

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業レポート(60%)と 事前事後学習への取り組み姿勢(発表会・報告会内容、実習報告書)を含めた総合評価(40%)

【教科書】

教科書は指定しない。必要な資料を配付する。

【参考書】

学生のためのボランティア論（大阪ボランティア協会出版部）（2016）第5刷
原田 隆司 著 ポスト・ボランティア論 日常のはざまの人間関係（ミネルヴァ書房）（2010年）
大阪ボランティア協会（監）巡 静一・早瀬 昇（編）基礎から学ぶボランティアの理論と実際（1997）

【備考】

ボランティア実習における交通費および施設使用料は実費負担となる。詳細については初回ガイダンスにて説明を行うので、履修予定者は必ず出席すること。

【学修の準備】

配付資料に基づいた予習、復習を行うこと。

江差町、浜頓別町、利尻富士町のそれぞれのホームページを閲覧し、予習復習を行うこと。

< 授業時間外学修 >

予習（60～90分）：配付資料に基づいた予習、復習を行うこと。

復習（30分～60分）：学習の振り返りをし、短くまとめる。

【プールクレジットシステムについて】

本授業は心理科学部臨床心理学科の研究協力者プールクレジットシステムに従って、様々な研究への参加・協力を最大5%の加点として評価する（詳細については初回講義にて説明する）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

西郷 達雄（公認心理師） 富家 直明（公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

ボランティア活動に必要な臨牀的かつ実践的な知識を修得できるような教育を展開する。